

静岡県内における被災者支援活動に関する会長談話

2021年（令和3年）7月7日

福岡県弁護士会会長 伊藤 巧 示

2021年7月3日、静岡県熱海市伊豆山で大規模な土石流が発生し、沼津市の黄瀬川でも増水による家屋流出等の被害が発生しています。

当会は、救出活動により一人でも多くの市民の命が守られることを心より祈念します。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

福岡県では、2017年の九州北部豪雨、2018年7月の豪雨、2019年の7月豪雨、2020年7月の豪雨など、近年、大規模な自然災害が発生しています。自然災害は時と場所を選ばずに発生するものであり、決して他人事ではありません。当会は、自然災害により被災された方への無料法律相談の実施、関係諸機関と連携した事業者向け無料法律相談の実施、自然災害債務整理ガイドラインに基づく債務整理手続きへの登録支援専門家紹介等の支援を行ってきました。

静岡県弁護士会は、災害発生日当日である7月3日に災害対策本部を立ち上げ、「令和3年7月3日に発生した土砂災害に関する会長談話」を発表し、被災された方を全力で支援することを表明されました。

当会は、静岡県弁護士会の対応に敬意を表するとともに、同会による被災された方への支援活動を後方支援するため、義援金を送り、その後は同会の求めに応じて、当会の豪雨災害時の経験に基づき、情報提供等を行うことなどによって、被災者支援に協力していく所存です。

以上